

春日井ロータリークラブ  
2014～2015 年度 WEEKLY REPORT

クラブテーマ

# ロータリアンのフェロウシップで、 世界・地域に、何か良い事をしよう!

植物園 ニュートンのリンゴの木

会 長 : 加藤 久仁明 例 会 日 : 金曜日 12:30~13:30  
副 会 長 : 蓮野 美廣 例 会 場 : ホテルプラザ勝川  
副 会 長 : 山田 治 事 務 局 : 春日井市鳥居松町5-45  
幹 事 : 近藤 太門 T E L : (0568) 81-8498  
会報委員会 : 長谷川 英輝 F A X : (0568) 82-0265

E-mail : Ksgj-rc@gaea.ocn.ne.jp



## 本日のプログラム

2015年5月22日(金)2232回(5月第3例会)

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| 司会           | 和田 了司君<br>加藤久仁明君 |
| ・点 鐘         |                  |
| ・ROTARY SONG | 「我等の生業」          |
| ・今月の歌        | 「茶摘」             |
| ・ビジター紹介      | 加藤久仁明君           |
| ・食事・歓談       |                  |
| ・委員会報告       |                  |
| ・祝 福         |                  |
| ・卓 話         | 山田 倫章君           |
| ・幹事報告        | 近藤 太門君           |
| ・点 鐘         | 加藤久仁明君           |

### 今月の歌

#### 茶摘

夏も近づく 八十八夜  
野にも山にも 若葉が茂る  
あれに見えるは 茶摘じゃないか  
あかねだすきに 菅の笠

### 今月の祝福

#### 会員誕生日

4日 成瀬 浩康君 19日 梅村 守君  
21日 太田 弘道君

#### 夫人誕生日

4日 屋嘉比良夫君・しげ子さん  
13日 林 憲正君・ミツさん

#### 結婚記念日

4日 小川 茂徳君 5日 川瀬 治通君  
13日 杉山 孝明君 26日 加藤 宗生君

#### アテンダンス表彰

46ヶ年 磯野 俊雄君  
6ヶ年 中川 健君

#### ロータリー親睦活動月間

例 会 予 定	5月29日(金)	6月5日(金)	6月12日(金)	6月19日(金)
	夜間例会 18時~ ホテルプラザ勝川 卓話徳洲会病院高山氏	理事役員会 11:30 卓話一年を振り返って 加藤会長他	祝福 卓話 松尾 隆徳君	IDM 18時~ ホテルプラザ勝川

ホームページ : <http://www.kasugai-rc.jp>

E-mail : [ksgj-rc@gaea.ocn.ne.jp](mailto:ksgj-rc@gaea.ocn.ne.jp)

### 先週の記録

#### 会長挨拶

会長 加藤久仁明君

今日は、職場例会と言う事で、中部電力の山田倫章所長の計らいで、中部電力浜岡原子力発電所の見学に来ています。4年前、東北大震災が有り、東京電力の福島原子力発電所が被害にあい、全国の原子力発電所が、発電停止になりました。その折この浜岡原発でも 22メートルの防波堤を作るように命じられました。その年の11月に、同じ中部電力さんの計らいで、いち早く、春日井ロータリークラブの職場例会として見学に来ています。その時にお越しになったメンバーも多いと思いますが、その時は防波堤の基礎を造っている段階でした。それから3年半たち防波堤がどの様に変貌しているのを見るのが楽しみです。これから夏にかけて電力不足が叫ばれる季節になってきますが、今日の見学を通じて、原子力発電は、必要か不必要か?原子力は安全か?どうか勉強したいと思えます。

#### 見学を終えて

皆さんよく理解できたでしょうか?大変難しい問題ですが、原子力の安全性と、22メートルの防波堤の大きさには驚きました。これを見る限り、地震津波に対する対策は十分されているように思いました。今後電力不足を補い、安い電力を供給するためにも安全が確保された浜岡原子力発電所の再開は不可欠の様に思われます。

最後に我々を案内してくれました、中部電力浜岡原子力発電所の皆様に感謝と御礼を申し上げます

## 幹事報告 幹事 近藤 太門君

早朝よりバスでの長時間の移動、お疲れ様でした。今週の幹事報告はありません。来週に報告をさせていただきます。

次週の予定です。

次週の卓話は、山田倫章君にお願いがしてあります。 よろしくお祈りします。

## ◎例会変更の案内

津 島 RC	5月29日(金) 5月31日(日) 家族会の為
名古屋空港 RC	5月25日(月) 5月 家族会の為
犬 山 RC	5月26日(火) 5月 社会・環境担当例会の為 未定
名古屋アイリス RC	5月27日(水) 5月27日(水)18:00 夜間例会の為 未定
名古屋城北 RC	5月26日(火) 5月26日(火) 植樹例会の為
瀬 戸 北 RC	5月26日(火) 5月31日(日) 家族会の為 日間賀島
名古屋守山 RC	5月27日(水) 5月27日(水) 夜間例会の為

## ◎例会休会のお知らせ

○名古屋大須RC 5月28日(木)は休会

## 出席報告 委員長 伊藤 純君

会員 58名	欠席 34名	出席率 39.2%
先々週の修正出席	—	—

## ニコボックス報告 委員長 古屋 義夫君

○浜岡発電所に参加出来た喜びで。

足立 治夫君	青山 博徳君	古屋 義夫君
伊藤 純君	伊藤 一裕君	加藤久仁明君
加藤 宗生君	近藤 太門君	大畑 一久君
太田 弘道君	小川 長君	杉山 孝明君
志水ひろみ君	高木 修君	宅間 秀順君
梅村 守君	屋嘉比良夫君	和田 了司君
山田 倫章君	岡島 良樹君	朽本 正樹君



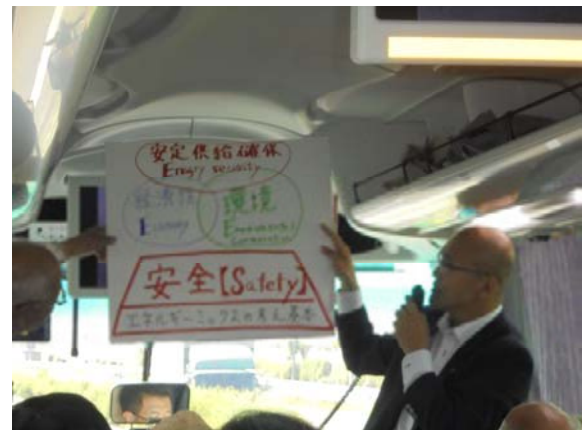
## 職場例会

### 浜岡原子力発電所視察にあたって

#### 職業奉仕委員 山田 倫章君

本日原子力発電所を实际見て頂くにあたって、現在日本で何故ここまで原子力の再稼働に対して厳しい状況になっているか、私が感じていることをお話しします。

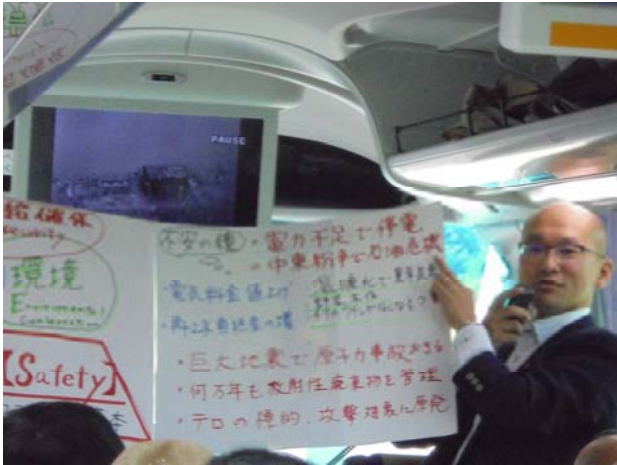
政府や私共電力事業者は、エネルギー選択を、安全性 (Safety) を土台に、安定供給確保 (Energy security)、環境保全 (Environmental conservation)、経済性 (Economy) という S+3E を基本としています。誤解をされている方がいらっしゃるかもしれませんが、我々はこれらを実現するには現時点で原子力という選択肢をはやめられないと考えているのであって、決して『原子力ありき』ではないです。原子力以外でこれらが実現可能であれば、それでもいいのです。



しかしながら、ご見識の高い春日井 RC の皆さんですら、原子力の必要性について「頭」で理解できても、「心」が受け入れにくいのではないのでしょうか。それはおそらく一般の市民の皆さんが、S+3E よりも『安心 (easy きやすさ, peace of mind 心の平穩)』を求めているからではないか、と私は想像します。

逆の言い方をすれば『気になる不安をどう取り除くか』ということに関心が高いということでしょうか。現在、電力の安定供給、電気料金値上げ、地球温暖化、といった 3E に関する不安よりも、『大地震で原子力事故が再び起こる』という不安や、『高レベル放射性廃棄物を何万年も管理できるのか』への不安が大きいのだと思います。不安の表れは相対的なもの、つまりその瞬間何が一番不安なのかということを決

まるのだと考えます。実際に東日本大震災の翌年、関西電力は深刻な電力不足の恐れがあったため、当時の野田総理大臣がTVで会見を開き大飯の原子力発電所を一時期再稼働しました。



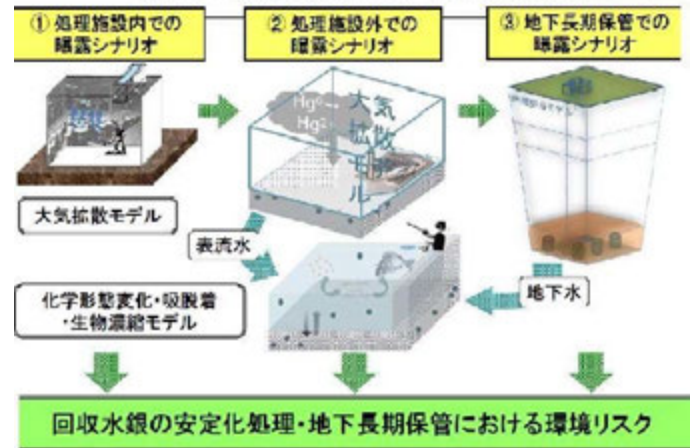
私が今日申し上げたいのは、東電福島第一の事故があり、原子力の事故に対する不安があるのは当然ですが、世の中には原子力の利用以外にも不安の種となるリスクにはいろいろとあり、それらについても冷静に判断することが日本の国全体として必要なことではないかということです。つまり、エネルギー問題は全体を俯瞰し長期的な視野が必要だと私は考えています。

いろいろな不安の種について、少し原子力発電とはなれた例を紹介します。

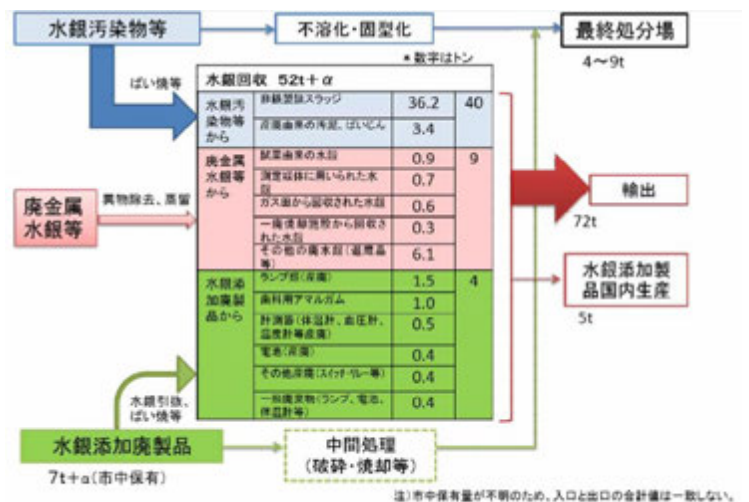
水俣病の原因となった水銀は、微量がわれわれの体内にもありますが、蛍光灯や電池、体温計など色々な分野で利用されています。もちろん多量に摂取すると甚大な健康被害がでるため、その管理方法について国際的に議論が現在すすめられています。ご存じのように水銀は一度体内に取り込まれると排出されず、食物連鎖で濃縮され、我々が食べるマグロや金目鯛に入っています。(ちなみに放射性物質は時間とともに排出されます。) また水銀は、物質としての毒性は消えることが無く永遠に続くため、長期間にわたって管理する必要があります。(これは数万年続く高レベル放射性廃棄物よりも長いです。) そしてあまり知られていませんが、現在その管理・処分方法や場所が日本では決まっていらないようなのです。(高レベル放射性廃棄物は少なくとも地層処分という方法は決まっています)

## 回収水銀の安定化処理プロセスに

おける環境リスク評価(高橋, 2011)



現在、日本では高い技術で様々な製品で使用された水銀の回収、リサイクル、そして利用量を減らしてきています。その結果、回収された水銀の50~100トンは全量が海外へ輸出されています。これは保管、処分方法が決まっていなかったからです。そして技術力の低い後進国でその水銀が大気中や川へ流出し、巡り巡ってマグロと一緒に我々の食卓へ帰ってきています。怖い話です。こうした現状を改善するため水銀の輸出等を禁じた国際条約(水俣条約)の発効が待たれます。



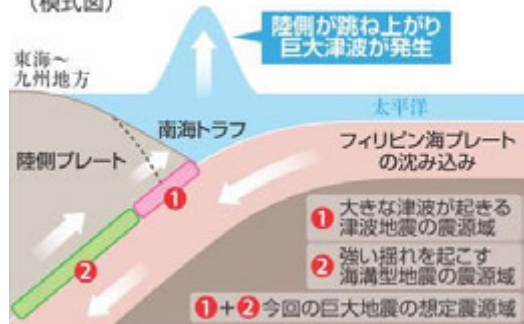
我が国における廃棄物等に含まれる水銀のフロー(2010年度ベース)<sup>2</sup>

次は石炭に関するの情報です。石炭がCO<sub>2</sub>を大量にだし地球温暖化に悪影響があるのはご存じだと思いますが、世界保健機構 WHOによると大気汚染で年間700万人の人が無くなっていて、その多くは石炭によるものだそうです。また炭鉱事故では年間10万人が亡くなっているという推定されています。多くは中国で発生しています。『命を守るために原子力を利用

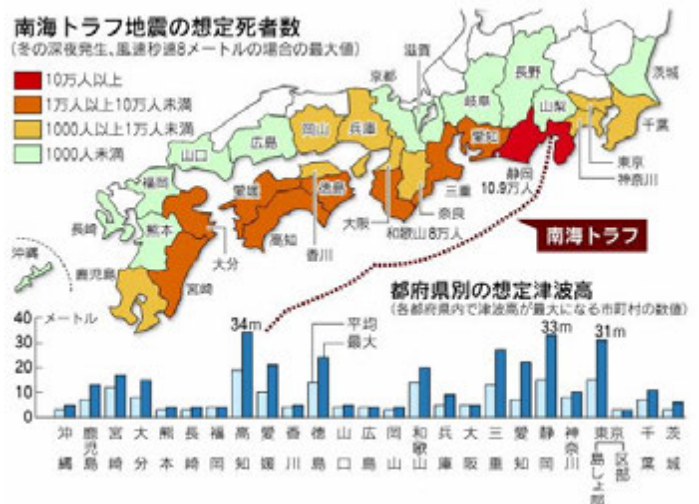
しない』というスローガンがありますが、こうした事実は我々日本からは見えにくいですが現実に発生していることです。また石炭を燃やすと先ほどの水銀が出ます。日本の石炭火力発電所では大気汚染防止のためにかなりの部分の回収はできていますが、後進国の石炭火力では発生を抑えるのは難しいでしょう。

こうした「不都合な真実」は私が知らないことも含めて本当にたくさんあると思います。マスコミや声の大きい意見だけでなく、皆さん一人ひとりが冷静に情報を取捨選択していただく必要があるのではないのでしょうか。我々は電気のプロとしてこうした機会に情報をお伝えしていくことが使命だと考えています。

**南海トラフの巨大地震と津波の仕組み**  
(模式図)



最後に、浜岡の安全性と密接にかかわる問題として、地震と津波の話をしていきます。東海・東南海の大地震はここ30年以内に83%の確立で発生するといわれています。私もきっと発生すると確信しています。ただ、『大地震が発生する＝(イコール)原子力建屋が壊れる巨大な揺れ＋21m級の津波が浜岡原発に押し寄せる』というイメージを持たれがちですが、発生確率は全く違います。地震は起こるが、それが深刻な揺れになるか、また巨大な津波が来るかどうかはわかりません。何故なら、地震は震源が浜岡直下で最大最悪のケースを想定し、津波に関しては遠くのプレートから発生した超巨大な津波が、最悪の形でいくつか重なり合って浜岡に押し寄せたらどうなるかというものだからです。特に巨大津波は発生確率にすれば、相当低く、私は「千年に一度」よりもっと低いと受け止めています。それでも東日本大震災の例もあり『可能性はゼロでない・明日起こるかもしれない』と我々中部電力は全力で対策工事を実施しています。



東海沖から日向灘にかけての「南海トラフ」を震源とする巨大地震で、死者が最大32万人に達するとの推計が公表された。東日本大震災を大きく上回るとされる被害想定は、「千年に一度」の最大級地震が起きた場合の数字で、次に発生する地震・津波の被害がこうなるというものではない

本日ご覧いただく浜岡原子力発電所は、そうしたかなり低い発生確率で起こる自然災害にも設備が耐えられるよう、そして万万が一耐えられない場合も、事故の被害を最小限にとどめるという「事故は起こる」という思想で安全対策を進めていますので、しっかりとご覧いただき、周りの方へも感想を伝えて頂ければ幸いです。

